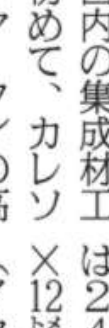


FLAM、ウッドコア

て行い現場に納品できる体制をとる。工場建屋は鉄骨平屋、60×240坪、1万4400平方坪で、川田工業のシステム建の雇用拡大はもとより、震災でダメージを



日本の中・大断面集材にプレスできる点が特
成材製造は人手を掛け、様々な長さを受
た少量多品種が一般的注生産することが多い
だが、FLAMでは機非住宅木造にも迅速に
械化、自動化による多対応できる。

品種量産体制を構築。

集成材の最大サイズは240×1250ミ
さらに国内の集成材工場では初めて、カレソ×12ミで、ユニチーム
ー（デンマーク）の高（イタリア）のCNC
周波プレスを導入。異加工機ウルトラを2台
なる長さの製品を一度導入し、プレカット加
工場ですべ
井クレーンも計10台設
しい」（浪江町役場）。

30ミ×240ミの無柱
空間が確保されてい
る。特に加工機周辺
の空間は広くとられ、耐
火被覆や鋼材とのハイ
ブリッド化、ユニット
組み立て、納入まで
大量の部材ストックな
ど、最近の大型木造物
の要望に応えられる
福島県全体の林業に良
い波及効果を与えてほ

受けた福島県内全域の
林業再生・活性化につ
ながる工場運営を期待
している。「周辺の既
存事業とは競合しない
分野で新たな需要を生
む挑戦に、町外からも